

学校教育目標

心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓く力の育成

主体的・共同的に学び、国際社会で活躍できる表現力豊かな人材の育成

～ ええとこのぼそ 淡路の教育 ～

Study must go on! and Step by Step!

1 学校運営の中期目標

【視点 学力の向上】

（1）「わかる」、「できる」が体感できる授業の創造 確かな学力の育成

学校独自の生徒アンケートの項目「授業がよくわかる学校」における肯定的な回答の昨年度からの数値の向上、もしくは80%以上での維持（カリキュラム改革関連）

全国学力・学習状況調査の生徒質問項目において、「将来の夢や目標を持っている」の肯定的な回答率の向上（カリキュラム改革関連）

【視点 道徳心・社会性の育成】

（2）自立した個の育成と支えあえる集団づくり 豊かな心の育成

学校独自の生徒アンケートの項目「みんながきまりを守る学校」「いじめや差別を許さない学校」「あいさつが気持ちよくできる学校」「生徒会・委員会・サークル活動が活発な学校」における肯定的な回答の昨年度からの数値の向上もしくは80%以上での維持（カリキュラム改革関連）

【視点 健康・体力の保持増進】

（3）何事にも粘り強く取り組むことを支える礎づくり すこやかな心身の育成

全国体力・運動能力、運動習慣調査結果の総合点数が、前年度から向上している生徒の割合を50%以上にする。（カリキュラム改革関連）

卒業までに、自分自身のからだや健康について考え自己管理しようとする意識をもつ生徒の割合を増やし、健康診断実施後に、医療機関での受診が必要な生徒の受診率を昨年度より向上させる。（カリキュラム改革関連）

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【視点 学力の向上】

(1) 「わかる」、「できる」が体感できる授業の創造 確かな学力の育成

- ・協同学習などティーチングメソッドの実践 基礎・基本の定着
- ・言語活動の充実をめざした授業づくり 活用する力の育成
- ・ICT機器を活用した授業づくり 興味・関心の高まり

学校独自の生徒アンケートの項目「授業がよくわかる学校」における肯定的な回答の昨年度からの数値の向上、もしくは80%以上での維持（カリキュラム改革関連）

全国学力・学習状況調査の生徒質問項目において、「将来の夢や目標を持っている」の肯定的な回答率3%の向上（カリキュラム改革関連）

【視点 道徳心・社会性の育成】

(2) 自立した個の育成と支えあえる集団づくり 豊かな心の育成

- ・基本的生活習慣の確立と規範意識の醸成
ルールやマナーを自ら守るとともに、家庭学習習慣の確立
「早寝、早起き、朝ごはん 頭すっきり遅刻0」そして、欠席0
- ・一人ひとりの違いを認め合い、違いを豊かさに。そして、つながり 絆に
- ・体験活動と道徳の授業を要とした実践の充実、

学校独自の生徒アンケートの項目「みんながきまりを守る学校」「いじめや差別を許さない学校」「あいさつが気持ちよくできる学校」「生徒会・委員会・サークル活動が活発な学校」における肯定的な回答の昨年度からの数値の向上、もしくは80%以上での維持（カリキュラム改革関連）

【視点 健康・体力の保持増進】

(3) 何事にも粘り強く取り組むことを支える礎づくり すこやかな心身の育成

- ・体力向上をめざした取組の充実
- ・メンタルケアと教育相談活動の充実
- ・自ら健康に関心をもち、健康の保持増進に努める生徒の育成
- ・健康診断の結果を真摯に受け止める生徒の意識改革、及び保護者への啓発
- ・健康診断を教育活動として意義づけるための指導を充実させ、事後措置として専門医受診が必要な生徒の受診率を上げるとともに日々の健康管理の意識向上を図る。
- ・卒業までに、自分自身のからだや健康について考え自己管理しようとする意識をもつ生徒の割合を増やす。

全国体力・運動能力、運動習慣調査結果の総合点数が、前年度から向上している生徒の割合を50%以上にする。（カリキュラム改革関連）

卒業までに、自分自身のからだや健康について考え自己管理しようとする意識をもつ生徒の割合を増やし、健康診断実施後に、医療機関での受診が必要な生徒の受診率を昨年度より向上させる。（カリキュラム改革関連）

年度目標の達成状況や取組の結果と分析

【視点 学力の向上】

(1) 数値目標の状況について

学校独自の生徒アンケートの項目「授業がよくわかる学校」における肯定的な回答の昨年度からの数値の向上、もしくは80%以上での維持（カリキュラム改革関連）

本年度 82%（昨年度 78%）

全国学力・学習状況調査の生徒質問項目において、「将来の夢や目標を持っている」の肯定的な回答率3%の向上（カリキュラム改革関連）

本年度 66.7%（昨年度 55.3%）

【視点 道徳心・社会性の育成】

(2) 数値目標の達成状況について

学校独自の生徒アンケートの項目「みんながきまりを守る学校」「いじめや差別を許さない学校」「あいさつが気持ちよくできる学校」「生徒会・委員会・サークル活動が活発な学校」における肯定的な回答の昨年度からの数値の向上、もしくは80%以上での維持（カリキュラム改革関連）

「みんながきまりを守る学校」本年度 50%（昨年度 35%）

「いじめや差別を許さない学校」本年度 82%（昨年度 79%）

「あいさつが気持ちよくできる学校」本年度 78%（昨年度 79%）

「生徒会・委員会・サークル活動が活発な学校」本年度 93%（昨年度 94%）

【視点 健康・体力の保持増進】

(3) 数値目標の状況について

全国体力・運動能力、運動習慣調査結果の総合点数が、前年度から向上している生徒の割合を50%以上にする。（カリキュラム改革関連）

本年度 76.5%

卒業までに、自分自身のからだや健康について考え自己管理しようとする意識をもつ生徒の割合を増やし、健康診断実施後に、医療機関での受診が必要な生徒の受診率を昨年度より向上させる。（カリキュラム改革関連）

本年度 視力 52.7%、耳鼻科 74.2%、眼科 60.0%、歯科 34.0%

昨年度 視力 54.2%、耳鼻科 57.3%、眼科 66.7%、歯科 43.2%

これまで教職員が一体となって年度目標に掲げた3つの視点に対する取組みを進めたことから、ほとんどで数値目標を満たす結果を得ることができた。

視点1については、ここ3年間「学力の向上」をめざして行ってきた「授業力の向上」に向けた研修の成果が十分に発揮できていると思われる。「協同学習」「言語活動の充実」「ICT機器の活用」と3ヶ年にわたり継続して取り組んだ授業力向上研修が実を結びつつあると思われる。

視点2については、昨年度よりも向上している項目が多く、目標を達成することができた。とりわけ「みんながきまりを守る学校」については、15ポイントも上がり規範意識の高まりつつある状況であるとみられる。また、「生徒会・委員会・サークル活動が活発な学校」についてはほとんどの生徒が肯定的に捉えており、本校の大きな取組になっていることがわかる。

視点3については、多くの生徒が本校在籍中に体力を向上させていることがわかる。日々の体育の授業や充実した体育行事が、生徒の体力向上の要因となった。

また、生徒自身の健康に関する自己管理については…（指導養護教諭と相談）

次年度への改善点

視点1については、次年度については、A. UDS(Awaji Universal Design Study)をテーマとして、ユニバーサルデザインの視点を踏まえながら、「協同学習」「言語活動の充実」「ICT機器の活用」というテーマを深める取組みを進めることで、学力の向上に結び付けたい。課題としては、各取組内

容に関して今後さらに充実させる余地もあり、今後の検討を進めたい。

視点2については、規範意識について大きな改善が見られたものの、半数が肯定的な回答をしていないことは課題である。生徒アンケートの結果によると生徒自身が「きまりをまもった」という意識は高いものの、全体として「きまりをまもった」という観点からはポイントが低くなっている。全体として「きまりをまもる」ようにすることが課題となる。

視点3では、来年度も引き続き体力向上に向けて授業や行事面で取り組みを進めて行くことが課題となる。また、生徒自身の自己管理については個別、全体への指導を継続しつつ、家庭との連携、学校保健行事と教科「保健」とのさらに細かい連携を取ることで改善を図っていく。

3 本年度の自己評価結果の総括

本年度の年度目標については、概ね達成できた。3つの視点に関して、きめ細やかに取組内容を設定し指標を定めてきたことにより、1年間を通して方向性がぶれることなくできた結果であると考え。また、その取組の一つ一つが、これまでの本校での教育活動の中で培われてきたものであり、課題を捉え分析をし、視点として挙げた結果であるとも考える。

しかしながら、後述する各視点ごとの、取組内容の達成状況においては課題も出てきている。また、運営計画には取り上げていないが、日々の教育活動で取り組んでいる内容もあれば、また、課題もある。その多くの取組について、中期的な視点を見据えて次年度の取組の設定を行っていきたい。

(様式2)

大阪市立淡路中学校 平成25年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

(1) 視点1 学力の向上

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 学力の向上】</p> <p>(1) 「わかる」、「できる」が体感できる授業の創造 確かな学力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協同学習などティーチングメソッドの実践 基礎・基本の定着 ・言語活動の充実をめざした授業づくり 活用する力の育成 ・ICT機器を活用した授業づくり 興味・関心の高まり <p>学校独自の生徒アンケートの項目「授業がよくわかる学校」における肯定的な回答の昨年度からの数値の向上、もしくは80%以上での維持 (カリキュラム改革関連)</p> <p>全国学力・学習状況調査の生徒質問項目において、「将来の夢や目標を持っている」の肯定的な回答率3%の向上 (カリキュラム改革関連)</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【ICT機器を活用した教育の推進】</p> <p>各教科でICT機器を活用した授業の研究を進める。</p> <p>指標 校内研究授業等でICTを活用した授業研究を各教科で1回以上行う。</p>	A
<p>取組内容②【習熟度別少人数授業の充実】</p> <p>国・数・英の3教科について、少人数、または習熟度別の授業を行い、基礎学力の向上とともに言語力の充実を図る手だてとする。</p> <p>指標 少人数授業・習熟度別少人数授業・TTを年間の授業時間数の2分の1以上実施する。</p>	B
<p>取組内容③【言語力や論理的思考能力の育成】</p> <p>全教科で、協同学習を取り入れた授業の研究を進め、聞く、話すなどのコミュニケーション能力の向上を目指す。</p> <p>指標 各教科で学期に1回以上、協同学習を授業に取り入れる。</p>	B
<p>取組内容④【授業研究を伴う校内研修の充実】</p> <p>各教科で、今年度の学習指導の目標に準拠した研究を深め、成果を校内研究授業等で発表し研修を行う。</p> <p>指標 年間3回以上の研究授業を実施する。</p>	A
<p>取組内容⑤【各種研究・研修の充実】</p> <p>各研究部、校務分掌それぞれの研究課題をもとに校内研修を実施する。</p> <p>指標 各校務部で年1回以上の研修を含む年4回以上の研修会を実施する。</p>	B
<p>取組内容⑥【若手教員の研修の充実】</p> <p>3年目までの教員を対象とした自主研修会 (YSの会) を開催する。</p> <p>指標 学期に1回以上の研修を実施する。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析（省略）

- ① 電子黒板やタブレット、プロジェクターを各教科で活用することができ、指標を上回ることができた。
- ② 習熟度別少人数授業を3教科とも実施することができ指標を達成できた。
- ③ 協同的学びの要素を授業に取り入れた授業を取り入れ、指標を達成できた。
- ④ 授業力向上をテーマにした研究授業を、目標を上回って実施できた。
- ⑤ スマホや携帯の使い方や、「ホームレス」「いじめ」問題、環境問題をテーマにした演劇鑑賞を行い、指標を達成できた。
- ⑥ 薬物乱用防止教育をはじめ、AED講習、熱中症予防教育を実施し、指標を上回ることができた。

次年度への改善点（省略）

- ① ICT機器を十分に活用するための条件整備が遅れている。
- ② 少人数授業は生徒の満足度が高く、実施回数を増やせるよう努力したい。
- ④⑤⑥ ・来年度はこれまでの3年間の成果をふまえ、授業研究のテーマをA. UDS（アワジ・ユニバーサル・デザイン・スタディー）に設定したいと考えている。
・研修内容や回数を整理・精選したい。

大阪市立淡路中学校 平成 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

(2) 視点 2 豊かな心の育成

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 道徳心・社会性の育成】</p> <p>(2) 自立した個の育成と支えあえる集団づくり 豊かな心の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的生活習慣の確立と規範意識の醸成 <ul style="list-style-type: none"> ルールやマナーを自ら守るとともに、家庭学習習慣の確立 「早寝、早起き、朝ごはん 頭すっきり遅刻 0」そして、欠席 0 ・ 一人ひとりの違いを認め合い、違いを豊かさに。そして、つながり 絆に ・ 体験活動と道徳の授業を要とした実践の充実、 <p>学校独自の生徒アンケートの項目「みんながきまりを守る学校」「いじめや差別を許さない学校」「あいさつが気持ちよくできる学校」「生徒会・委員会・サークル活動が活発な学校」における肯定的な回答の昨年度からの数値の向上もしくは 80%以上での維持 (カリキュラム改革関連)</p>	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【その他：生活指導の充実】</p> <p>「あいさつをする」「身だしなみを整える」「時間を守る (余裕をもって行動する・遅刻をなくす・チャイム前着席)」を定着させる。</p> <hr/> <p>指標 学校評価アンケート「きまりをまもった。」「あいさつを気持ちよくした。」「時間を守ることができた。」の項目を各学年前年度より向上させる。また、遅刻者数を前年度より減少させる。</p>	B
<p>取組内容②【特別活動の充実】</p> <p>生徒会・委員会の活動計画や学級の生活班・教科系の役割を明確にし、それぞれの役割を協力しながら責任をもって行う。</p> <hr/> <p>指標 学校評価アンケート「自分の役割をしっかりと果たした。」「委員会活動や学級の係活動に積極的に取り組むことができた。」の項目を各学年前年度より向上させる。</p>	A
<p>取組内容③【道徳教育の推進】</p> <p>これまで引き継いできた人権・道徳指導案に加え、読み物教材の活用に努める。また、学校教育活動のすべてが道徳教育につながっているという意識で教育活動を進める。</p> <hr/> <p>指標 国際理解学習、障がい者問題学習、同和問題学習、ピア・サポートの取組、性教育、の取り組みを各学年、年 1 回以上取り組む。</p>	B
<p>取組内容④【その他：一人ひとりを大切にしたいサークル活動の充実】</p> <p>全教師がサークル活動にかかわるとともに、サークル参加生徒自身の問題意識を高め、自発的な活動ができるよう支援していく。</p> <hr/> <p>指標 週 1 回のサークル活動時間の確保と、年 3 回以上のサークルに参加している生徒から全校生徒への発表を行う。</p>	A

<p>取組内容⑤【美化・環境整備】</p> <p>全校生徒で学校全体をきれいにする意識の向上を図る</p> <p>美化向上週間・クリーンキャンペーンを設定し、ある一定の継続した取組を行う。</p> <p>各クラス清掃活動と点検活動の定着</p> <hr/> <p>指標 美化委員を中心に、美化意識向上に向け、美化便り等で情報発信する機会を学期に2回以上持つ。</p>	B
<p>取組内容⑥【その他：芸術鑑賞を通したマナー教育・道徳教育・学校行事との連携】</p> <p>芸術鑑賞を通し、鑑賞マナーを学ぶとともに、今年度は環境問題をメインテーマに人権問題にもふれた演劇を鑑賞する。また、劇中には、多くのダンスやミュージカルの要素が取り入れられており、体育大会のダンス発表や、文化祭の劇の取組に活かす。</p> <hr/> <p>指標 生徒の事後アンケートで、肯定的な回答の数値が80%を超える。</p>	A
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>① 生徒自己評価「きまりをまもった」(87%)「あいさつを気持ちよくした」(83%)「時間を守ることができた」(78%)。登校指導や集会、授業、部活動、サークルなど学校生活全般できめ細かく指導する中で改善がみられた。遅刻については登校指導や学年での取り組み、家庭への働きかけが効果があった。</p> <p>② 生徒自己評価「部活動をしっかりがんばった」(76%)「自分の役割をしっかりと果たした」(90%)「学校生活は充実していた」(88%)「委員会活動や学級の係活動に積極的に取り組むことができた」(82%)「部活動をしっかりがんばった」については3年生が引退するため例年1学期よりも下がる。教科系の役割と責任にも改善が見られた。</p> <p>③ 読み物教材を活用する条件整備に努めた。また、外部講師の招聘など、より充実した道徳教育を推進できた。</p> <p>④ 読み物教材を活用する条件整備に努めた。また、外部講師の招聘など、より充実した道徳教育を推進できた。</p> <p>校内にしっかりとサークル活動が位置づいていることのあらわれとして、仲間の日の集会が充実したものになった。道徳授業実践の中でも、各サークル活動で身に付けたものが有形化されている。サークル活動の充実を支える教職員の意識が高まった。</p> <p>⑤ ・美化委員から美化向上週間を積極的にアピールしていくことで、生徒たちの美化に対する意識が向上した。生徒アンケートでは美化意識は昨年度より10ポイント近く上がっている。そうした影響からか大清掃においても、積極的に掃除を行う生徒が増えた。</p> <p>・後期から資源ごみ回収についての変更があった。</p> <p>⑥ 劇団「踊る猫」の「スクラップ」という演劇を鑑賞した。環境問題やリサイクルの視点を訴える内容であったが、同時に仲間の大切さや協力することの大切さを学ぶことができた。また、ミュージカル仕立ての演劇だったので体育大会のダンス演技の参考になった。さらに、出演者の迫真の演技や発声など、文化祭の演劇発表にも役立った。</p>	
次年度への改善点	
<p>① 「あいさつ」「身だしなみ」については定着をはかる中で、自主性が高まるよう取り組む。遅刻が頻繁な生徒については家庭の果たす役割も大きいと連携を強化し、サポートできるようにする。引き続き全教職員で声掛けを行う。</p> <p>② 全生徒が何らかの集団に所属し、その中で役割を担って責任をもってとりくめるようにする。集団の活動や役割を達成したことに満足感を得られるような取り組みや働きかけを模索する。部活動やサークルの所属率を上げることが課題。</p> <p>③④ 今後、より一層、道徳4項目24領域を満遍なく身に付けさせることができるように取り組みたい。そのためにも、より綿密な年間計画を立てたい。毎年、教職員の異動が行われ</p>	

る中で、サークル活動の充実に向けてモチベーションを維持する手立てを模索する。

- ⑤
 - ・美化向上週間などを通して、清掃活動の点検を行う。
 - ・美化向上週間の点検する清掃場所を教室から校内へ広げ、さらなる全校生徒の美化意識の向上に努めたい。
- ⑥ 芸術鑑賞に関しては、クラス数の関係から予算に限りがある。今後も内容を重視しつつ、予算に見合った芸術鑑賞を進めたい。

大阪市立淡路中学校 平成 25 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

(3) 視点 3 心身の健やかな成長

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 健康・体力の保持増進】</p> <p>(3) 何事にも粘り強く取り組むことを支える礎づくり すこやかな心身の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体力向上をめざした取組の充実 ・メンタルケアと教育相談活動の充実 ・自ら健康に関心をもち、健康の保持増進に努める生徒の育成 ・健康診断の結果を真摯に受け止める生徒の意識改革、及び保護者への啓発 ・健康診断を教育活動として意義づけるための指導を充実させ、事後措置として専門医受診が必要な生徒の受診率を上げるとともに日々の健康管理の意識向上を図る。 ・卒業までに、自分自身のからだや健康について考え自己管理しようとする意識をもつ生徒の割合を増やす。 <p>全国体力・運動能力、運動習慣調査結果の総合点数が、前年度から向上している生徒の割合を 50%以上にする。(カリキュラム改革関連)</p> <p>卒業までに、自分自身のからだや健康について考え自己管理しようとする意識をもつ生徒の割合を増やし、健康診断実施後に、医療機関での受診が必要な生徒の受診率を昨年度より向上させる。(カリキュラム改革関連)</p>	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【体力向上への支援】</p> <p>体育の授業、及び、体育的行事（体育大会・球技大会）の充実を図る。</p> <hr/> <p>指標 全国体力・運動能力、運動習慣調査結果の総合点数が、前年度から向上している生徒の割合を 50%以上にする。</p>	A
<p>取組内容②【健康な生活習慣の確立】</p> <p>保健室だよりでの啓発とともに、集会等での直接指導を行う。また、健診結果と受診勧告を配付し、担任との連携を図りながら未受診率の改善を行う。</p> <hr/> <p>指標 健康診断を教育的観点から捉え、事後措置における個人指導の充実を図り、医療機関での受診が必要な生徒の受診率を昨年度より向上させる。また、学校保健委員会を年一回以上開催する。</p>	A
<p>取組内容③【健康に関する現代的課題への対応】</p> <p>生徒のメンタルヘルスに関する問題について、日々の健康観察や保健室での精神的ケア活動に加え、教職員間の連携を図り組織的な対応を進める。</p> <hr/> <p>指標 健康観察情報の共有を図り、週 1 回の生活指導に関する情報交換会も活用し、関係教職員と連携した組織的な支援の充実を図る。また、毎月 1 回（年間 10 回以上）、スクールカウンセラーからのメッセージを保健だよりに掲載する。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析(省略)

- ① ランニングや補強運動に初めはついてこれない生徒もいたが、全員がしっかりと行えるようになった。柔軟に関しては一定の成果は達成しつつも、まだ課題を感じる。
球技大会の企画、運営、進行は1学期よりスムーズに行うことができ、ニュースポーツであるアルティメットも取り入れた。
T・Tを有効に活用しICTを取り入れ、撮影や助言を行い、複数の目で評価をつけた。
- ②③健康診断事後措置の中で、未受検生徒対策として各学校医、家庭と連携をとりながら取り組み、家庭からの学校医受診で対応できたケースもあるが、全員受検とはいかない。健康診断結果による専門医受診勧告については、日ごろから学級担任と生徒に関する情報交換を行い家庭環境等も考慮しながら協力して個人指導に努めている。また各学期末の懇談時を利用した学級担任からの再受診、再々受診勧告も大切な指導の場となり連携した取り組みができています。心の健康問題については、以前から気になっていた生徒のメンタルヘルス問題を取りあげ、教職員が生徒のメンタルヘルスについて正しく理解し的確に対応できることを目的に研修会を開催した。結果、専門的立場のスクールカウンセラーから学ぶことができ勉強になったとの声が多く、生徒支援の充実につなげることができた。第2回目の学校保健委員会テーマを「食生活を考える」とし、現在、3学期開催に向けて詳しい内容等について校内及び校外関係機関、学校医等と話し合いながら調整、準備を進めている。その中で保護者との情報交換等の中からみえてくる食育に関する子どもの健康課題も踏まえ、内容に取り込んでいきたいと考えている。年間を通じていろいろな健康課題を取りあげ、学年・全体を対象に集団保健指導の機会を捻出し、実施することができた。

次年度への改善点(省略)

- ① 今年は体育分野でのICT活用を行ってきた。来年度は保健分野においても有効な活用方法を検討し、力を入れていきたい。
今年度、ニュースポーツを行った。来年度も続けて行い、ルールや特性を身につけさせ、授業内容を深めていきたい。
- ②③受診勧告について、きちんと受診している生徒が多数いるものの、特に歯科については大きな受診率向上は難しい。その対策として今年度ミニ集団指導を実施したが、今後個別指導の方がより効果的であると考えます。また専門医受診には家庭の協力が不可欠であり、さらに対策が必要である。集団保健指導の時間設定、及び教科「保健」とのさらに細かい連携の必要性を強く感じる。